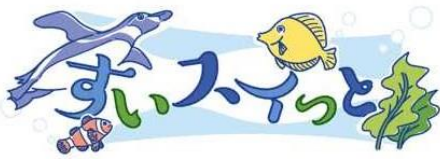
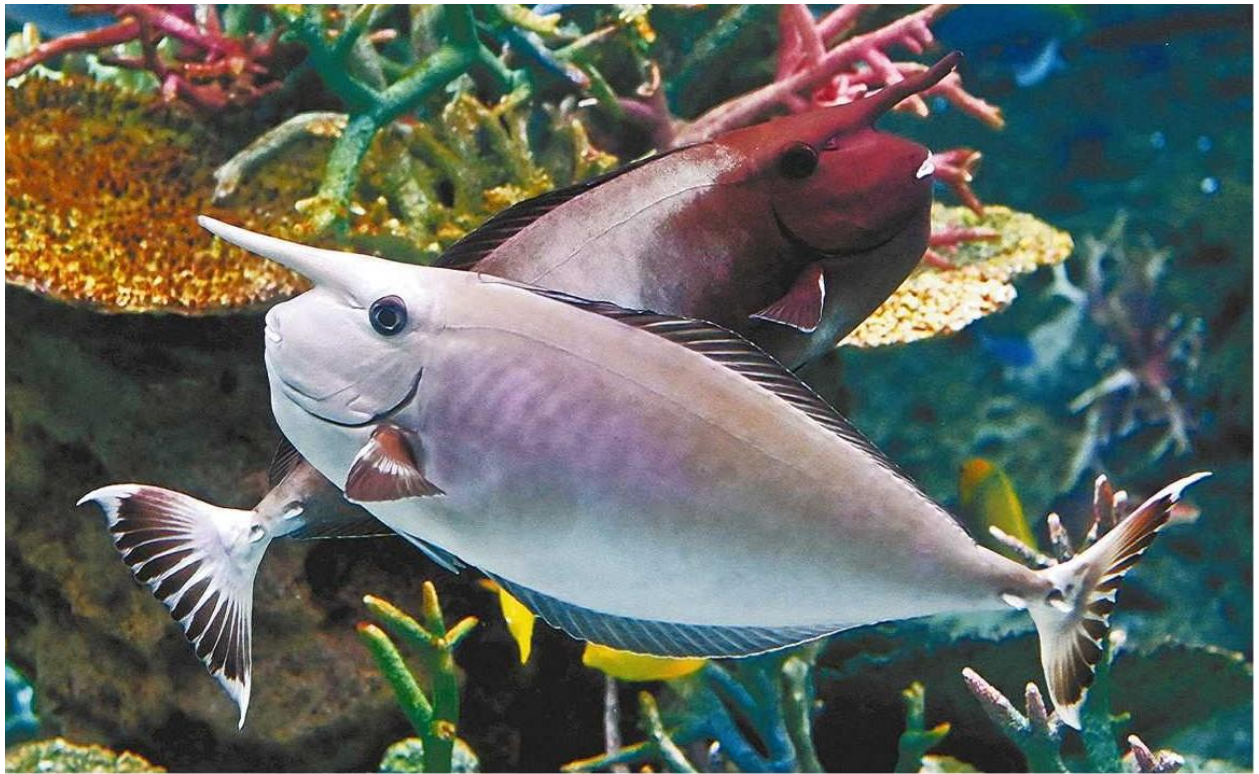


年 組 名前



@名港水族館

ヒメテングハギ

額に伸びる ツノ高々

③1

QRコードから動画
が見られるほか、掲
載写真の購入方法も
紹介しています



ヒメテングハギは、ズキ目ニザダイ科。体長約60センチ。インド洋から太平洋の岩礁やサンゴ礁にすみ、主に藻類を食べる。日本では相模湾以南にすみ、前頭部の角状突起は、成長するにつれ生えてくる。用途ははっきり分かっていない。体色は通常は白っぽい。興奮すると黒っぽくなる。

写真・桜井 泰
文・鈴木沙弥

見よ、額からすつと伸びるこのツノ！ 目立つゆえ「あの魚はなに？」と不思議がるお客さんも多い。
なんで生えてるかって？
人間には秘密じゃ。けんかしたり、食べ物をとったりするためではないことだけ教えておいてやろう。
「食事のとき邪魔では？」とかな？ いや、性格はのんびりじゃが結構器用。岩にぶつからず、上手に餌を食べられるぞ。同じ水槽に泳ぐ近い仲間「テングハギ」「ツマリテングハギ」と共に、英語ではユニコーンフィッシュとも呼ばれる。でも一番ツノが長いのがわれら二匹。日本では、天狗の鼻にもたとえられる自慢のツノじゃ。鼻高々じゃな。

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問い：ヒメテングハギのツノは、なんのためにあるのでしょうか。

つぎから一つえらびましょう。

ア けんかするため。 イ た 食べ物をとるため。

ウ め 目立つため。 エ はっきり分らない。